

これからの取り組み

豊中市では 23年度に市の機構改革を実施、地域担当窓口を設置して地域自治システムの試験的な取り組みを始めます。この取り組みは行政から強制的に押しつけられるものではなく、自主的に参加の意欲の有る地域からはじめられます

準備委員会の立ち上げにむけての検討会

時：3月21日(月祝)午後1時30分～
場所：東町会館2階
住民の自由参加にて、準備委員会を立ち上げる打ち合わせをおこないます。

東町では豊中市との新しい自治システムの検討過程でこの町にもいくつかの課題や問題があることが浮かび上がってきました。

住民自治には自治会など地縁型の住民団体が中心に地域を支えていく「地域コミュニティー」型と行政の縦割りから組織された目的別の団体が支える「アシエーション」型の2つのタイプがあります。この二つの住民自治は、成立した経過や運営される思想が明確に違います。この違いを理解しながら、2つの住民自治をつなぎ合わせる事が、東町においても重要な課題であると思われます。

制度ができて、それを受け入れる仕組みがちゃんとしていなくては活かすことができません。

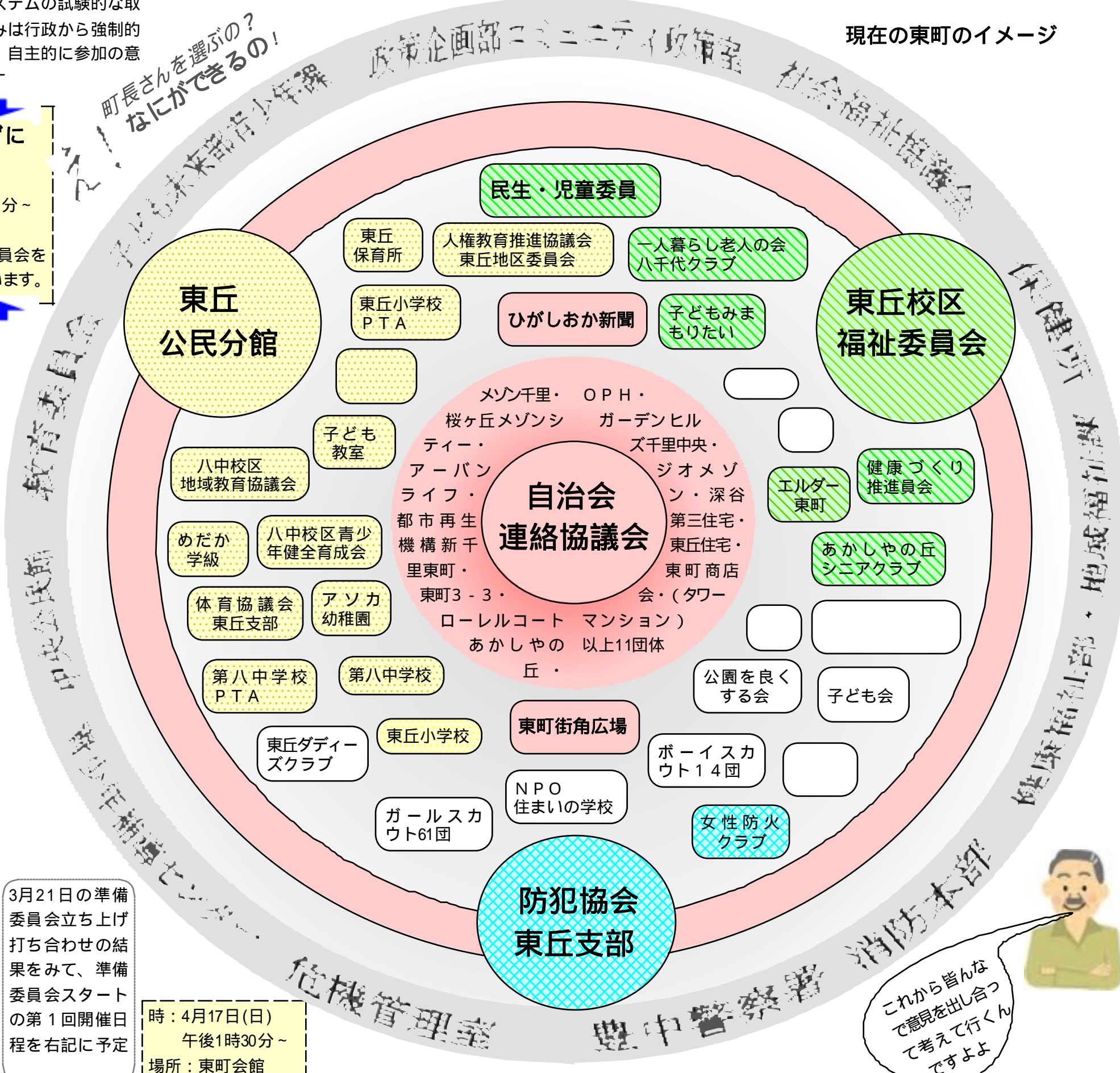
2月6日の豊中市主催で東町自治会連絡協議会が協力して開催した「地域自治システム報告」及び意見交換会の場で、豊中市が23年度から実施する「地域自治の試験的取り組み」に東町が参画する方向性について賛意をえました。

3月21日の準備委員会立ち上げ打ち合わせの結果をみて、準備委員会スタートの第1回開催日程を右記に予定

時：4月17日(日) 午後1時30分～
場所：東町会館

東町のこれからのをみんなでお考えましょう

現在の東町のイメージ



これまでの取り組み

豊中市では平成19年に自治基本条例を施行し、地域住民自らが地域を良くしていこうとする取り組みを推進することを決めました。そのため市は、これを具体化するにはどのような仕組みが必要かを検討してきました。

東町では、みんなが住みやすいと思うまち、この町に住んでみたいと思われるようなまちをめざして、地域の団体や住民と一緒に考え、協力して活動しています。

平成21年度からその初年度のモデル地区(地域フィールドワーク実施地区)として、地域の住民活動の実績が評価され、東町が選ばれました。

東町では、豊中市から提示された地域コミュニティのあり姿(案)について意見交換をして「住民の活動しやすい仕組み」を検討してきました。

- 第1回 平成21年9月19日 住民参加
地域のコミュニティーを活性化するために。目的等の説明、「地域自治組織」について。
- 第2回 平成21年11月14日 住民参加
地域自治の仕組みの提案。
- 第3回 平成22年1月16日 住民参加
これからの市の取り組み
- 第4回 平成22年5月22日 住民参加
これまでのふりかえり。
中間報告書の作成 平成22年6月
- 第5回 平成22年9月18日 自治会連絡協議会
補助金のありかたについて
- 第6回 平成22年9月18日 自治会連絡協議会
補助金のありかたについて
- 第7回 平成22年10月16日 自治会連協
補助金は切り離して、地域自治の東町バージョンを考える。
- 第8回 平成23年2月6日 住民参加
検討結果の報告と意見交換

豊中市はこれまでの東町での意見交換を参考に「地域自治システム検討報告書」を本年2月末までに策定することになります。

これからみんな
で意見を出し合っ
て考えて行くん
ですよ